

# 沿革

- ・1984年 様々な立場・職業の方がトイレについて、楽しく議論する場である「トイレットピアの会」が誕生したことから始まり、翌年1985年5月15日に「日本トイレ協会」として発足
- ・1986年 「第1回全国トイレシンポジウム」を静岡県伊東市で開催。  
11月10日を「いいトイレ」と読めることから「トイレの日」と制定
- ・1989年 日仏トイレフォーラム（トリアノン宮殿）
- ・1992年 メンテナンスの重要性が認識され「メンテナンス研究会」が発足
- ・1993年 世界初のトイレの国際会議「神戸国際トイレシンポジウム」開催
- ・1994年 アジア・太平洋地域公共トイレセミナー開催（香港）
- ・1995年 阪神淡路大震災にてトイレボランティアの展開
- ・1996年 「学校トイレ研究会」発足
- ・1997年 「ノーマライゼーショントイレ研究会」発足
- ・2000年 「次世代トイレ研究会」発足
- ・2001年 第1回世界トイレサミット開催（シンガポール）
- ・2002年 学校トイレフォーラムを神戸・名古屋等4都市で開催
- ・2005年 愛知万博に「トイレ探検館」出展
- ・2006年 災害時に備えた情報・品物の交換のできる「災害トイレ情報ネットワーク」を構築。
- ・2007年 「途上国のトイレ・環境改善支援のワークショップ」を開催。
- ・2008年 トイレ広告の可能性を探る活動を実施。
- ・2009年 トイレ文化の創出を目指す「日本トイレ協会」と  
トイレを通じた社会的事業を目指す「NPO法人日本トイレ研究所」  
の2つに分かれて活動を再スタート。
- ・2011年 東日本大震災のトイレ調査、災害とトイレをテーマにシンポジウム開催
- ・2013年 ユニセフ「世界トイレの日」（11月19日）制定、「トイレ文化研究会」発足
- ・2014年 日本科学未来館の「トイレ？行っトイレ！」展に協力
- ・2015年 創立30周年記念フォーラム開催、「トイレ学大事典」発刊
- ・2016年 熊本地震へのトイレ支援を実施、「一般社団法人日本トイレ協会」に切り替え
- ・2017年 防災・災害用トイレ対策の推進。  
災害時のトイレ備蓄調査実施。備蓄率約15.5% 84.5%の人は備蓄していないことが判明。  
横浜市より「公衆トイレの調査」委託。
- ・2018年 インバウンド観光客と2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた活動として「グッドトイレ推進運動」
- ・2019年 災害・仮設トイレ研究会発足  
日本トイレビジョン試案  
自治体のトイレ関連行政についての調査報告書作成
- ・2020年 会長、理事、運営委員交代。  
年頭より新型コロナウイルス感染症 COVID-19 拡大、パンデミックにより、テレワークやオンライン会議へ移行。  
国際委員会発足



故西岡秀雄初代会長と  
秘書の谷珠得孔女史



# 全国トイレシンポジウム

全国トイレシンポジウムは、毎年11月10日の「トイレの日」（日本トイレ協会制定）前後の週末に開催しています。

1986年	静岡県伊東市	「社会とトイレを考える…公共トイレを中心として」
	東京都江戸川区	「トイレアメニティを目指して」
87年	神奈川県横浜市	「トイレからまちづくり」
88年	鳥取県倉吉市	「トイレ文化と健康からのまちづくり」
89年	熊本県熊本市	「21世紀へ向けてトイレ文化を考える」
90年	愛媛県川之江市・伊予三島市	「トイレと紙と環境」
91年	石川県金沢市など	「旅と自然とトイレ（交通とトイレ自然公園、災害とトイレメンテナンス）」
92年	東京都北区	「トイレの進化とこれからの課題」
93年	群馬県高崎市	「トイレの視点で地域ネットワークを考える」
94年	三重県磯部町	「美しい水環境とトイレづくり」
95年	長崎県小浜町	「自然と人間にやさしいトイレづくり」
96年	富山県	「環境とトイレ」
97年	宮城県気仙沼市	「福祉・トイレ・環境で地域をつなぐ」
98年	北海道旭川市	「寒冷地・医療とトイレ」
99年	福岡県北九州市	「21世紀のトイレと人間環境」
2000年	山口県松江市	「開かれた観光地づくりとトイレ整備」
01年	埼玉県さいたま市	「公共トイレの整備はどこまで必要か？」
02年	京都府京都市	「21世紀にトイレは何を目指すのか？（資源化）」
03年	岐阜県高山市	「トイレが創る住みよいまちシンポジウム」
04年	東京都千代田区	「人間中心の都市再生を目指して」
05年	神奈川県小田原市	「活力ある商業・観光年を目指して」
06年	岩手県遠野市	「“環境共生型トイレモデル”年を実現する」
07年	東京都港区	「環境配慮型・有料トイレ・広告トイレの整備を考える」
08年	長野県伊那市	「『桜の里』で里山、山岳、避難時のトイレを考える」
09年	千葉県松戸市	「〈川の駅・トイレ/ジョイントフォーラム2009〉トイレがまちにやってきた-まちトイレ・川トイレ・防災トイレ-」
10年	神奈川県鎌倉市	「〈観光とトイレ/鎌倉トイレフォーラム2010〉誰でも使えるニコニコトイレ」
11年	神奈川県横浜市	「〈横浜市国際トイレフォーラム2011〉市民の命と暮らし/災害とトイレ」
12年	東京都渋谷区	「社会環境の変化とトイレ/人々・街・医療・危機管理」
13年	東京都新宿区	「都市とトイレ/地域・教育・医療・防災」
14年	東京都世田谷区	「学校とトイレ/こんなに大事な学校のトイレ-現状・課題・対策-
15年	東京都文京区	「世界に発信する日本のトイレ-2020年のその先へ-
16年	東京都千代田区	「パブリックデザインとトイレ」
17年	神奈川県横浜市	「誰もが楽しく歩けるまちへ/まちなかトイレを考える」
18年	東京都文京区	「公共トイレが直面する問題を考える」
19年	東京都文京区	「公共交通のトイレの進化」
20年	東京都江東区	「災害とトイレ」